



予算審査特別委員会

予算審査特別委員会設置 一般会計外10会計を審議

平成29年度予算の審査では、渡辺議長を除く11名の議員で「予算審査特別委員会」を設置。委員長に橋本喜一議員、副委員長に菊池洋議員を選出しました。

第7回定例会会期中の予算

審査は3月10日（金）から土、日曜日を除く14日（火）まで、の3日間開かれ、一般会計外10会計を審査しました。各会計の予算審査は事業の担当課別に審査を行い、会期最終日の3月17日（金）の本会議において、橋本委員長が審査した全会計について「可決すべき」との審査結果を報告しました。

陳情1件採択

今定例会には陳情1件が提出され、産業厚生常任委員会（長田守弘委員長）に付託され、3月9日（木）に開かれた産業厚生常任委員会において審議されました。この付託された案件、陳情第11号「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出についての陳情」については、委員会で審議の結果「採択すべきもの」と決しました。

可決 及び意見書1件 議員辞職勧告決議

○意見書案第8号
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書案



今年度も田んぼアート事業を実施（写真は昨年度事業状況）

29年度予算は復興から進化へ軸足移す

平成29年度の予算総額は、一般会計と10特別会計の合計で前年度より引き続き100億円台となり、前年比3.1%増の103億1,740万円となりました。また、一般会計も前年同様50億円台となり、前年比2.7%増の59億5,500万円となりました。

2年連続 100億円台に

平成29年度の予算を決定する第7回鏡石町議会定例会は、3月6日（月）に開会。議員発議を含む全30案件を審査議決し、3月17日（金）に閉会しました。

今回の定例会では、右表の

とおり百億円を超える大型予算を議決しましたが、対前年比では3.1%増、一般会計

も去年同様50億円台で、対前年比2.7%増となりました。

震災復旧での大型事業が終了したものの、復興から進化へ積極的に軸足を移す予算額といえます。

全体で百億円を超えた主な要因は、新規事業の道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業で354,633千円、認定こども園整備事業で146,727千円、中学校校庭防球ネット整備事業で79,000千円などがあげられます。

また、今年は町制施行55周年記念の年となることから、記念式典をはじめ、全国あやめサミットなどの記念事業が計画されており、その関連予算も計上されています。

平成29年度予算については、予算審査特別委員会（橋本喜一委員長）の審査報告を受け、定例会最終日に、一般会計をはじめとする10会計とも原案

は、議決されました。

会計区分	29年度	28年度	増減率(%)	
一般会計	595,500	580,000	2.7	
国民健康保険特別会計	165,030	165,260	△0.1	
後期高齢者医療特別会計	9,571	9,641	△0.7	
介護保険特別会計	88,200	82,300	7.2	
土地取得事業特別会計	3,004	3,002	0.1	
工業団地事業特別会計	10,510	4,700	123.6	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	19,200	16,400	17.1	
育英資金貸付費特別会計	812	843	△3.7	
公共下水道事業特別会計	49,980	48,240	3.6	
農業集落排水事業特別会計	7,500	6,880	9.0	
小計	949,307	917,266	3.5	
上水道事業会計	収益的	27,367	24,354	12.4
	資本的	55,066	58,700	△6.2
	計	82,433	83,054	△0.7
合計	1,031,740	1,000,320	3.1	



本会議

今定例会には、人権擁護委員の任期満了に伴う再任について意見を求める諮詢会を開催するため、給与規定を定める条例案1件、まちの駅「かんかん館」の開設準備に伴う条例改正案5件、国道4号線の使用料規定を改正するなど、業団地敷地の一部売却について議決を求めるもの1件、議員登録による地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書案1件が提出され、それも原案どおり可決しました。

現役教員を指導 主事として採用